

明治安田生命 2005年度入社式の実施について

明治安田生命保険相互会社（社長 金子 亮太郎）は、本日、152人（総合職82人、特定総合職70人）の新入職員を迎え、「入社式」を行ないましたので、その概要をお知らせします。

1. 新入職員の自主活動「今、わたしたちにできる人間愛」について

今回の入社式では、新入職員が、入社前に、地区単位のグループ毎に「今、私たちにできる人間愛」をテーマにボランティア活動や募金活動を行ない、それを通じて感じたこと、考えたことを発表しました。これは、入社前に「人間愛」に関するレポートを求めたことに呼応し、新入職員が自主的に「今、私たちにできる人間愛」が何かを考え、実践したものです。

【新入職員が全国各採用地区で実施した自主活動の内容】

- ・札幌地区：阪神大震災の被災者からの体験談ヒアリング、病院でのボランティア活動
- ・仙台地区：清掃活動、収集したゴミを換金し新潟県中越地震義援金として寄贈
- ・東京地区：持ち寄ったものをフリーマーケットで販売し、収益金を日本赤十字社へ寄贈
- ・名古屋地区：「ボランティアNPOフェスタ 2005」への参加。ホームレスの方へ炊き出し
- ・大阪地区：「一日一善」を実行（社会貢献活動「エイブルアート・オンステージ」への自主参加等）
- ・福岡地区：「骨髄バンク」の支援活動（社内での意識調査、募金活動）

2. 社長挨拶（抜粋）

「熱き心」で、ともに改革に取り組もう

- 今般の不適切な保険金不払い等の問題について、会社は、お客さまや社会のご叱責、ご批判を真摯に受け止め、「業務改善計画」の実行により、事態を引き起こした「問題の解決」、そして「真のお客さま第一主義」の実践に、全社を挙げて真正面から取り組んでいく。
- 皆さんも、不安な気持ちもあったと思うが、今般の事態を機に、会社は、これまでの業務運営を「お客さまの視点」から徹底的に見直し、大きく変わっていかうとしているので、皆さんの「若い力」…「柔軟な発想」が大切。全員が「熱き心」で、ともに改革に取り組んでほしい。

「若々しい会社」の担い手に

- 「明治安田生命」は、明治、安田両社の120年を超える「歴史と伝統」を継承する一方、「新しい発想と創意工夫」を発揮して、「日本で一番若々しい生命保険会社」をめざしていく。
- 過去の成功体験や様々な先入観にとらわれることなく、柔軟な発想が出来るのは、「若い世代」。「創造的破壊」によって、「新商品」や「新機軸」を生み出し、「新しい付加価値」を生み出す「知識」、「感性」、「技術」を持っているのも、皆さん「若い世代」と確信している。「日本で一番若々しい生命保険会社」の担い手となっていただくことを期待する。

以上